

# 乙訓平和委員会ニュース

発行年月日 2024年3月15日 No.473 発行・乙訓平和委員会 編集責任者・米重節男  
電話・FAX 075-932-3546 MAIL heiwaotokuni@gmail.com

## 墓参行進団に家から出て挨拶する沿道住民も

### 3.1 ビキニデーに初参加の感想

今回3.1ビキニデーに初めて参加しました。3月1日に行われた久保山愛吉さん墓前祭に参加するため、焼津駅前から墓参行進しました。

行進中には、沿道住民や通行人の中にあいさつされる方や、手を振ってくれる方を見かけたのは印象深かったです。特に沿道でわざわざ家の外に出てあいさつされる方が居られるのには驚きました。

原水禁大会ほどの規模も注目度もありませんが、そこへつながる出発点として必要な大会で

あることを参加してみて感じました。

特に私が参加した分科会では、過去に制作されたドキュメンタリーや映画などの映像作品を見ました。その後に参加者同士が会場内で意見交換をする構成でした。他にも参加が初めての人に向けた分科会が設定されているなど、運動に関わりだして間もない人でも参加しやすい大会だろうと感じました。

(文と写真:米重俊男・京都市)



原水協集会の第6分科会 映像の広場に参加

(2ページ  
に別記事)

## 「迎え酒ならぬ、迎えウクレレ」

落語を聴いているとよく、酒呑みが家に帰宅してからや、翌日にまたお酒を飲んで、余韻を楽しむ場面があります。私はお酒を日頃は飲まないのですが、その「迎え酒」をたしなむ方の気持ちはわかりませんが、なかなか面白い風習だと思います。

似ているか分かりませんが、私は毎日、中学生相手に授業をしています。先日は中学3年生の全員（学年集会）の前で、ウクレレの弾き語りもしました。当然、彼らの「今日の授業、よく分かったよ」「ウクレレの演奏、気持ちが伝わってきた」などの反応には嬉しく思います。授業もウクレレも当然にきちんと準備をして臨みますので、ぶれずにできますが、やり終わった後はさすがに疲れます。これを回復させるのに、先ほどの迎え酒ではないですが、私は帰りにカフェで少し自習をします。

生徒にも次のことを今年度はアドバイスをしています。

「授業では、道筋をきちんと書いた説明や前でも話をして解説をするので、とにかくまずは「正しい答え」がどうやったら出るか考えながらやってみて」と。そして続けて「家に

戻ってから、きちんとノートを用意して、正しい答えまでのルート（道）を少なくとも1つは確認して（できるようになって）ほしい」と。

何が言いたいのかというと最近、どのようにエネルギーを出して学習に取り組んで良いかわからない生徒が多くいます。ですので、まず授業では「思い切って、正解を目指してやってみようよ！」と呼びかけているわけです。

私のここ最近の至福の時は、音楽などを習ったレッスンの後に、カラオケルームに入り、短時間ですが復習（振り返り）をすることです。レッスンの先生が先ほど言われたことを、まだリアルに覚えていますので、「そうだったのか！」などと一人合点をしながら振り返りを楽しんでいます。迎え酒ならぬ、迎えウクレレ（ミュージック）ですね。

(24.02.24) (文とイラスト)

